

# 大阪府摂津市民の健康・栄養とウェルビーイングに関する縦断調査(摂津スタディ)速報

## 調査概要

調査対象者：令和6年1月25日時点で摂津市に住民票がある18歳以上の者  
(要介護3以上の認定を受けている方を除く) [約72,000人]

調査手法：アンケート方式

調査期間：令和6年2月22日～令和6年3月29日(延長期限4月30日)

## 速報値

回答数**約1.4万件** (回答率**20%**)

※5月2日時点(本ペーパーの数字については今後の集計の中で変動可能性有)



20ページ以上の記名式調査でありながら、市民の**1.4万人超**から返送!



回答全体の**約50%**が**65歳以下**の方で若い世代から健康状態の把握が可能に!



**1万人超規模で20年間の継続的な調査が可能!**  
日本でも数少ない健康・栄養分野の研究の基盤が構築

## 今後の展望

今回の調査から摂津市民の健康状態の特徴を分析します。今後、今回の回答者に追加の調査をご案内し、血液や腸内細菌等を用いて健康状態を詳しく調べる研究を行う予定です。これらの研究を通して、個人の特徴に合わせた生活習慣を提案し、摂津発信の健康寿命延伸モデルを実現することを目指します。

今後の活動は、  
摂津スタディのHPを  
ご確認ください!



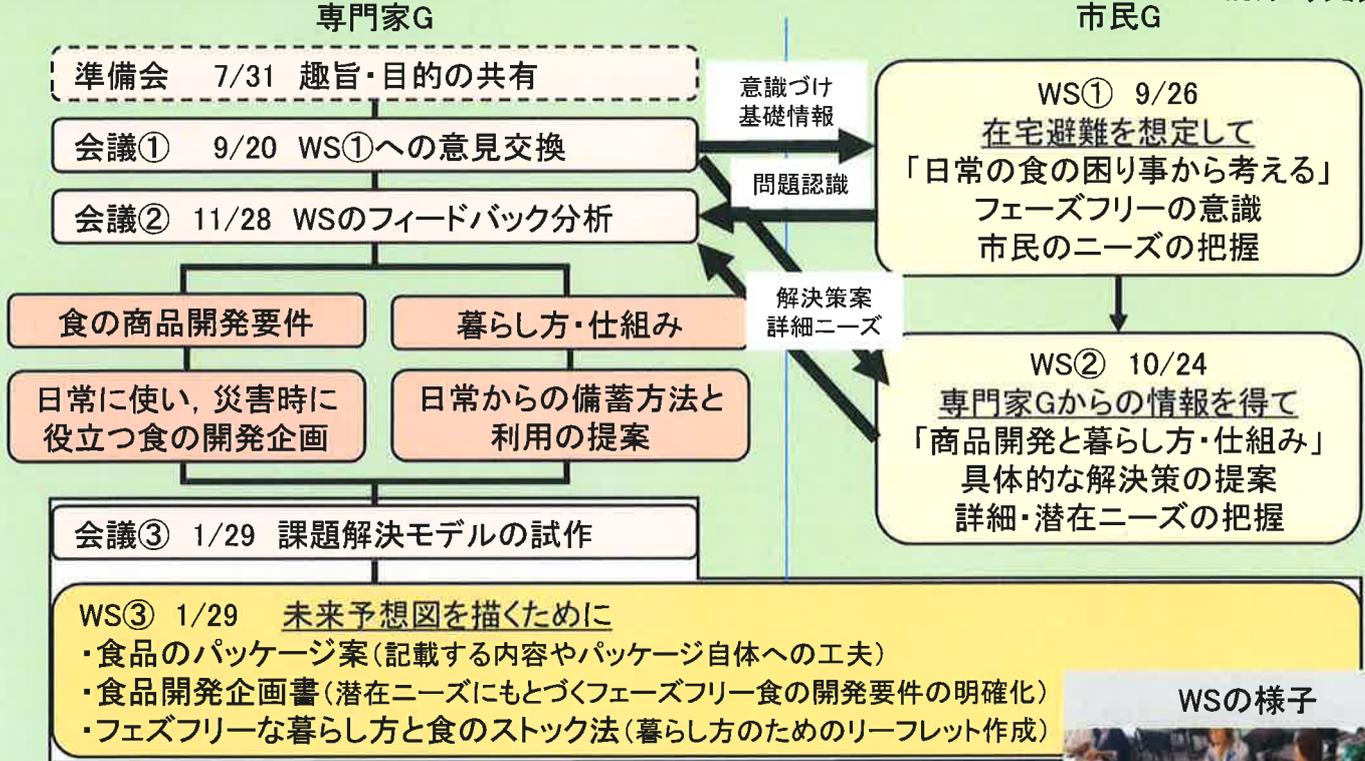
ご協力いただき、誠にありがとうございました。  
引き続きご協力よろしくお願いたします!

【目的】

- ・市民・生活者を中心とする対話と専門家の知恵とのやりとりを基本とした産学官民の取り組み
- ・日常と災害時を区別しない「フェーズフリー」の考え方による災害に備える解決策の提案・評価・実践
- ・防災における新しい社会的価値の創出

【取り組み方法(2023年度)】

G:グループ  
WS:ワークショップ



WSの様子

【まとめ】

- 吹田・摂津に関わる市民主体の産官学民ワークショップの実施
  - 備蓄方法や暮らし方を見直すきっかけになった 92%
  - ワークショップをして初めて知ることがあった 67%
- 食品パッケージへの防災情報の記載のニーズ確認と工夫の必要性
  - 日用品の非常時の活用方法・役立つものが作れるもの 50%
- フェーズフリーな生活とそれに馴染む備蓄方法の提案
  - リフレットの試案作成, 配布方法(学校配付等)
- 新たな防災食の開発企画の要件の絞り込み
  - 常温保存で日常使いができる, 多様なおかずの1食セット

防災イノベーションプロジェクト研究会

参画団体

- 関西大学
- エア・ウォーター株式会社
- 医薬基盤・健康・栄養研究所
- 吹田市
- 摂津市

参加していただいた団体

- NPO法人市民ネットすいた
- 株式会社マミー・クリスタル
- 一般社団法人吹田市きしべ地域人権協会
- 岸一地区公民館
- ふれあい交流サロン南正雀まるっと。
- 山二地区防災対策委員会
- 摂津市千里丘小学校区自主防災会
- 摂津市防災サポーター
- LFA食物アレルギーと共に生きる会

【次年度に向けて】

- 市民と産官学ネットワークの継続と強化
- 食品パッケージ企画の実現
- フェーズフリーの実践と  
リーフレットのデザイン, 作成, 配布
- 食品の試作, 評価, 改善, ...

